

## 別表第3

## 障害科学専攻 博士課程前期2年の課程

科目区分	授 業 科 目					
	必修	単位数	代表教員	選択必修	単位数	代表教員
運動学分野	運動学概論Ⅰ	2	門間	運動学特論Ⅰ	2	門間
	運動学概論Ⅱ	2	門間	運動学特論Ⅱ	2	門間
	運動学実習Ⅰ	3	門間	行動医学特論Ⅰ	2	金澤
	運動学実習Ⅱ	3	門間	行動医学特論Ⅱ	2	金澤
行動医学分野	行動医学概論Ⅰ	2	金澤	臨床神経生理学特論Ⅰ	2	中里
	行動医学概論Ⅱ	2	金澤	臨床神経生理学特論Ⅱ	2	中里
	行動医学実習Ⅰ	3	金澤	肢体不自由学特論Ⅰ	2	鈴鴨
	行動医学実習Ⅱ	3	金澤	肢体不自由学特論Ⅱ	2	鈴鴨
肢体不自由学分野	肢体不自由学概論Ⅰ	2		内部障害学特論Ⅰ	2	海老原
	肢体不自由学概論Ⅱ	2		内部障害学特論Ⅱ	2	海老原
	肢体不自由学実習Ⅰ	3		高次機能障害学特論Ⅰ	2	鈴木(匡)
	肢体不自由学実習Ⅱ	3		高次機能障害学特論Ⅱ	2	鈴木(匡)
てんかん学分野	てんかん学概論Ⅰ	2	中里	胎児病態学特論Ⅰ	2	齋藤
	てんかん学概論Ⅱ	2	中里	胎児病態学特論Ⅱ	2	齋藤
	てんかん学実習Ⅰ	3	中里	医学概論Ⅰ	3	海老原
	てんかん学実習Ⅱ	3	中里	医学概論Ⅱ	3	海老原
内部障害学分野	内部障害学概論Ⅰ	2	海老原	統計学	2	山口
	内部障害学概論Ⅱ	2	海老原	運動処方学Ⅰ	2	門間
	内部障害学実習Ⅰ	3	海老原	運動処方学Ⅱ	2	門間
	内部障害学実習Ⅱ	3	海老原	行動医学実践学Ⅰ	2	金澤
高次機能障害学分野	高次機能障害学概論Ⅰ	2	鈴木(匡)	行動医学実践学Ⅱ	2	金澤
	高次機能障害学概論Ⅱ	2	鈴木(匡)	義肢装具学Ⅰ	2	
	高次機能障害学実習Ⅰ	3	鈴木(匡)	義肢装具学Ⅱ	2	
	高次機能障害学実習Ⅱ	3	鈴木(匡)	臨床神経生理学実習Ⅰ	2	中里
胎児病態学分野	胎児病態学概論Ⅰ	2	齋藤	臨床神経生理学実習Ⅱ	2	中里
	胎児病態学概論Ⅱ	2	齋藤	内部障害実践学Ⅰ	2	海老原
	胎児病態学実習Ⅰ	3	齋藤	内部障害実践学Ⅱ	2	海老原
	胎児病態学実習Ⅱ	3	齋藤	臨床脳科学Ⅰ	2	鈴木(匡)
上記以外の分野 (専攻兼務分野)	分野指定科目Ⅰ*	2	各指導教授	臨床脳科学Ⅱ	2	鈴木(匡)
	分野指定科目Ⅱ*	2	各指導教授	神経解剖学	2	鈴木(匡)
	分野指定実習Ⅰ*	3	各指導教授	医学AI概論Ⅰ	2	岩崎
	分野指定実習Ⅱ*	3	各指導教授	医学AI概論Ⅱ	2	岩崎
共通必修科目	医療倫理学	1	浅井	Topics and DiscussionsⅠ	2	鈴木(貴)
	論文研究Ⅰ	10	各指導教授	Topics and DiscussionsⅡ	2	鈴木(貴)
				Topics and DiscussionsⅢ	2	鈴木(貴)
				Topics and DiscussionsⅣ	2	鈴木(貴)
				国際学会参加成果評価	1	各指導教授
				災害医学概論	2	石井(正)
				分野選択科目Ⅰ*	2	各指導教授
				分野選択科目Ⅱ*	2	各指導教授
				分野選択科目(実践学)Ⅰ*	2	各指導教授
				分野選択科目(実践学)Ⅱ*	2	各指導教授

※次の各号により、30単位以上を修得すること。

1. 必修科目は、指導教員の指示により21単位以上。

2. 選択必修科目は、指導教員の指示により9単位以上。

なお、学生は、その他許可を得た授業科目を選択科目として履修することができる。\*印の授業科目は、該当する分野(専攻兼務分野)が設定する科目である。

※各科目の詳細(開講の有無、時間割、講義場所等)については、シラバスを確認すること。